

## 母から学んだ、いのちの大切さ

母は、70歳を過ぎた頃から自分の家が分からなかったり、話ができなくなったりしていきました。80歳を超えると、歩くことも不自由になってきました。ある朝、母を起こしにいきました。しかし、体がけいれんし、なかなか起きあがることができません。私は必死になって起こそうとしました。それは「母が歩けなくなったら仕事へ行けなくなる」という気持ちからでした。何とか食事をさせて、家を出ました。

その日は、一日中「これからどうしようか」と自分の都合ばかり考え、気持ちが沈んでいきました。悩む時間がしばらく続きました。しかし、少しずつ答えが見えてきました。年を取ったら誰でも体が不自由になる、自分も必ず同じようになる。ここまで育ててもらって、お世話になったことは忘れてしまっている自分、親を疎ましく思った自分の間違いに気づかされました。

その後、母の世話を姉に手伝ってもらうことになりました。会いに行くと目は開いていても私を見てはくれません。「母はどんなことを思っているのだろうか」「私のことを分かっているのだろうか」。話しかけても返事はありません。時々体を拭いたり、体が固まってしまわないように動かしたりします。すると、体がふるえてきつような顔をします。しかし、どんなに気持ちや言葉を交わすことができなくても、いやなものはいやだ、心地良いものは心地良いという表情を見せ、生きていることで家族を力づけてくれました。

母の命は、看護師さんをはじめ、多くの人たちに支えられていました。母は、私たちに生きる力を与え続け、93歳で静かに生涯を閉じました。

私たちは、本当にお互いを大事にしているでしょうか。近くのお年寄り、仲間、となりの人、家族、自分、ちょっと見つめてみたいものです。

益城町教育委員会

## 益城町の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)	
	6月中	H26年累計
人身事故	7	37
物損事故	46	381
空き巣	2	5
自販機狙い	0	0
万引き	2	3
オートバイ盗	0	1
自転車盗	0	1
車上狙い	2	8

件数は平成26年6月末現在

### 問い合わせ先

役場総務課防災係 ☎町役場/☎221・224  
御船警察署・御船地区防犯協会連合会  
☎282-1110 内線261～264

● 構わないか、メーカーや医師に確認しましょう。  
● 取扱説明書に書かれた使用法を守って使用しましょう。  
● 自分の健康状態に合わせて、過度に負荷のかかるような運動はしないようにしましょう。  
● また、運動中に異常を感じたらすぐに中止しましょう。  
● 使用方法や製品について問い合わせる場合に備えて、取扱説明書や領収書などの書類は必ず保管しておきましょう。  
(国民生活センター発行くらしの豆知識より)

### 問い合わせ先

役場住民生活課(上益城広域消費生活相談室)  
☎町役場/☎111・112

らなかつたという。

【以後★印は、各種の西南戦史・報告書などの抜粋から】

★明治10年2月19日正午近く、「お城に火が付いたぞ」と叫ぶ声が聞かれた。白川の長六橋は人で埋まり、土下座した老人が「恐ろしい事でございます」と身を震わせた。強風に煽られた火勢は募り、天守閣全体が火の塊となって昇天するようだった。まだ薩摩の軍勢は熊本城下には入っていない。かかった。(石光真清「城下の人」)

★明治40年頃、熊本商業教師青木規矩男は姉の勤務する小学校で姉を待つ折、この54歳55歳の用務員との話に「明治10年の段山の戦闘は激しかった」と語り出し、「私は、元軍曹の村上と言い、天守閣は谷干城熊本鎮台司令長官の命により自分が放火した。当時天守閣は使用されず、むしろ邪魔だった」と打ち明けた。青木は50年は秘密にすると約束し、既に50年過ぎたのでと発表した。

(平成17年2月19日熊日「言葉のゆりかご」↓熊本県資料集成第13集・西南役と熊本・青木規矩男覚書)

益城町文化財を訪ねる会  
会長 松野國策